第1489回　京都市教育委員会会議　会議録

１　日　時　令和５年４月２７日　木曜日
　　開会　10時00分　　閉会　11時30分

２　場　所　京都市総合教育センター　第１研修室

３　出席者　委　員　奥野　史子
　　委　員　髙乗　秀明
　　委　員　笹岡　隆甫
　　委　員　野口　範子
　　委　員　松山　大耕

４　欠席者　教育長　稲田　新吾

５　傍聴者　なし

６　議事の概要

（１）　開会

10時00分、髙乗委員が開会を宣告。

（２）　前会会議録の承認

第1488回京都市教育委員会会議の会議録について、全委員の承認が得られた。

（３）　議事の概要

ア　議事

議案１件、報告２件

イ　非公開の承認

議案１件、報告１件については、市長の作成する議会の議案に対しての意見の申出及びその他の関係機関と協議等を必要とする事項に関する案件であり、京都市教育委員会会議規則第３条に掲げる「非公開事項」に該当するため、京都市教育委員会会議規則に基づき、非公開とすることについて、全員の承認が得られた。

ウ　非公開の宣言

髙乗委員から、議案１件、報告１件について、会議を非公開とすることを宣言。

エ　報告事項

報告　令和５年度実施　京都市立学校教員採用選考試験について

（事務局説明　小泉　教職員人事課担当課長）

令和５年度に実施する京都市立学校教員採用選考試験の概要について御説明申し上げる。

まず、資料の上段四角囲いの（１）について、今年度の試験要項は４月３日に発表しており、現在出願を受け付けているところである。発表時期を昨年度と比較して１０日程度早めており、これにより、受験者に本市の試験情報を少しでも早く届けることで、受験者確保につなげていきたい。本日朝時点では１７０名程度に出願頂いている。昨年度同時期の出願数は約１２０名であったため、一定の効果はあったと考えているが、例年、出願期間の終わりに向けて提出数が増える傾向にあるので、今後の出願数を注視してまいりたい。

続いて資料の１　を御覧いただきたい。採用予定数は２３５名程度を予定しており、前年度と比べると小学校で１０名減とした以外は昨年度と同数である。本市教員の年齢構成上、いわゆる大量退職のピークを超え、退職者数が減少していることに加え、定年延長制度により、令和５年度末には定年退職者がいない状況。さらに、少子化が進んでおり、中長期的に見て必要な教員の数自体が減っていく見込みである。しかし、採用予定数の急激な増減を避けるため、小学校のみの減に留めている。今後も長期的な視点で計画的に新規採用者を確保していきたいと考えている。また、特別選考のフロンティア特別選考英語コースについて、出願要件を緩和したことに伴い、「英語ネイティブコース」から「英語コース」に名称を変更している。

次ページの２　主な試験日程に関して、志願書受付については５月８日（月）正午までであり、その後の試験日程や試験会場については、昨年度と大きく変わりはない。

３　試験制度等について、本市への志願につながるようにという趣旨で何点か変更を行ったので、主なものを御説明申し上げる。まず、小学校の教科担任制で活躍できる人材を積極的に確保するため、小学校教諭志願者のうち、「数学」「理科」「保健体育」「英語」のいずれかの中学校または高等学校の普通免許状取得・取得見込者に、第１次試験において加点する制度を新設する。また、全市的な「支える」生徒指導のより一層の充実のため、心理及び福祉の専門資格を有する方を対象に、第１次試験において加点する制度を新設する。さらに、フロンティア特別選考英語コースについて、志願者の第一言語が英語という出願要件を緩和し、国籍にとらわれずに受験いただけるよう、「CEFR C1 相当以上の英語力を有する方」も受験可能とする。

次に４　広報及び魅力発信についてであるが、全国的に教員不足が課題となっている中、本市ではＨＰで様々な情報を発信するとともに、昨年度 YouTube 公式チャンネルを開設し、現役教員のインタビューや試験制度、出願方法の紹介など様々な動画配信を行っている。本日は一例として、「小学校編」について御覧いただく。

（動画配信）

今後も様々な情報が届けられるよう、充実させていきたいと考えている。この他にも、次の採用試験を受験する世代である大学３回生以下を対象とした大学訪問による対面式の説明会や、現職教員のパネルディスカッションや座談会の実施など、現職教員から直接生の声を聞ける機会を設定するなど、積極的な広報活動を展開している。

また、クリアファイルを新たに広報媒体として作成し、その裏面や HP のバナーにキャラクターを掲載することにより、本市で教員として働くきっかけとなる情報が多くの方に届けられるよう、様々な工夫を行っているところである。

なお、資料最終ページには、昨年度行った本市の教員採用選考試験結果を掲載している。

続いて、総合支援学校での医療的ケア（自立活動）担当教員採用選考試験について御説明する。

医療的ケアが必要な児童生徒が増加する中、本市では学校に看護師を配置するなどの体制整備に加えて、一層の体制充実を図るため、独自に医療的ケア（自立活動）担当教員の採用・配置を行っている。令和２年度に政令市で初めて採用試験を実施し、今回で４回目。なお、本試験は特別免許状制度の活用により、教員免許の有無にかかわらず受験できる。

医療的ケア（自立活動）担当教員の職務内容は「１」に記載のとおり。教員や看護師への指導・支援や研修の実施、保護者や医療機関との連携・調整、また、近年医療的ケア児の在籍が増加している地域の小中学校等への相談支援などを通じて、学校における医療的ケア実施体制の充実に向け中心的な役割を果たしていただくこととしている。

試験の概要は「２」、試験日程については「３」のとおり。本試験は、教員採用選考試験とは別の要項に基づいて実施し、試験日程も異なっている。

なお、本試験の内容等について昨年度からの変更点は特にない。

参考として、昨年度までの受験者数等は資料末尾の「参考２」に記載のとおりで、これまでに４名を採用している。今年度から地域制総合支援学校４校に１名ずつの配置が完了し、地域支援による全市サポート体制が整ったところである。医療的ケア児やその御家族への支援に関して、ますます期待が高まっている状況や、来年度は北総合支援学校中央分校が開校予定であること等も踏まえ、引き続き採用試験を実施する。

（委員からの主な意見）

【松山委員】　教員免許を取りたくても、単位取得のハードルが高く、取れない人たちが多くいるのではと考える。大学への働きかけなど、単位取得のハードルを低くする努力も必要だと考えるが、教員免許がなくても受験できる制度はあるか。

【事 務 局】　本市では特別選考枠を設けており、フロンティア特別選考の理数工コースや、保健体育コース、英語コースがある。これらは、いずれも競技実績等の資格要件はあるものの、教員免許を有しない方も受験可能である。

そもそも教職課程を取得されない学生が多くなってきていることも懸念しており、その原因が単位取得の困難さに起因するものなのか、教員という職の魅力に起因するものなのか、判別しがたい。今後も大学と連携しながら、教員確保に努めていきたい。

【奥野委員】　ICT に長けた人材に特化した制度はあるか。

【事 務 局】　ICT だけの特別選考はないが、情報技術に関する資格をお持ちの方は、第 1 次試験において 5 点加点する制度を設けている。引き続き、ICT の分野に関して優秀な人材も確保していきたいと考えている。

【奥野委員】　ICT の分野は、すごいスピードで進化しているので、その分野に長けた人材を採用していくことは重要である。

【髙乗委員】　医療的ケア担当教員の採用について、開始から今年度で４年目になるが、初年度は 17 名とたくさんの方が志願されて、その後は６名、４名と推移している。倍率的には妥当な倍率に落ち着いていると思うが、初年度から２年、３年目にかけて減っているのは、どういった背景があるのか。

【事 務 局】　１年目は新しい取組で、マスコミなどに取り上げていただいたこともあり、多くの方に志願いただけたと考えている。看護師は不足している状況であるが、できるだけたくさんの人に志願いただきたいと考えている。昨年度まで

もナースセンターへの求人登録等を行っていたが、今後とも、より看護師の方に届く広報媒体を模索していきたい。

また、医療的ケア担当教員として最初に採用された方は、勤務されて２年が経ち、業務内容なども定着してきたところ。日々どういう仕事をしているのか、どういった働き甲斐があるのかなど、できる限り報道機関にも情報提供をしながら、取材をしていただくなど様々な形で情報発信をしていきたい。

【野口委員】　昨年度の志願状況は如何か。

【事 務 局】　昨年度は 1,482 名に志願いただき、最終合格者が 233 名、志願倍率は 6.4 倍であった。令和３年度の全国平均倍率が 3.7 倍の中、全国平均よりは高い倍率であった。特に、小学校のみを見ると、全国平均が 2.5 倍のところ、本市では４倍以上を確保している状況。

【野口委員】　倍率としては危機的ではないものの、志願者を増やす努力を継続していく必要があるということか。

【事 務 局】　多くの方に受験いただくことで、質を確保できるということに加え、定年退職者が少なくなってきたとは言うものの、若年退職者や教員の若返りに伴う産休育休教員も増えている中で、補充の講師も確保していく必要があり、本市においても人材の補充が難しい現状にある。そういった中で、より多くの方に受験いただき、合格できなかった場合でも、引き続き京都市で講師として頑張りながら、改めて採用試験を受けていただけたらと考えている。

【笹岡委員】　動画はすごく素敵だと思う。手作り感がいいのかもしれないが、先生のコメントがすごく良かったので、先生のコメントを引き立たせられるような工夫をお願いしたい。

クリアファイルの説明もお願いしたい。

【事 務 局】　ホームページのバナーもそうだが、漫画「宇宙兄弟」の作者小山宙哉氏が本市出身であり、京都の先生を募集するということで御協力いただいた。幅広い世代に人気のある漫画であるが、引き続き若い世代の方を中心に、どういった形の打ち出し方をすれば、目に留めていただけるのかを考えていきたい。

【髙乗委員】　今までの一般的な傾向として、民間の雇用条件がよくなると、どうしても公務員や教員の志願者が減る傾向がある。今は教員を採用する側としては厳しい条件の中で、民間と競合することになるが、是非いろいろな取組を進め、優秀な人材を確保していただきたい。

議案１件、報告１件については、市長の作成する議会の議案に対しての意見の申出及びその他の関係機関と協議等を必要とする事項に関する案件であるため、非公開

（４）その他

○髙乗委員から、前会会議以降の主な出来事等について報告

４月３日　　新規採用教職員発令式

４月７日　　京都市立学校・幼稚園入学（園）式

～４月 11 日

４月 10 日　開建高等学校開校式
　　美術工芸高等学校開校式
４月 13 日　全市校園長会
４月 14 日　小栗栖中学校区小中一貫教育校新校舎建設工事起工式
４月 24 日　西陵中学校区小中一貫教育校新校舎建設工事起工式

○事務局から、当面の日程について説明

（５）閉会

11 時 30 分、高乗委員が閉会を宣告。

署　名　　高乗委員